

あの会場の最遠席(会場1階) ステージまで何メートル?

宇都宮文化会館 18メートル

東京国際フォーラム 76メートル

横浜アリーナ 57メートル

テスト結果

持ち運び	使用感	機能性
3.5 ₁₀	7.25 ₁₀	7.25 ₁₀
見やすさ	追跡性	総合得点
9 ₁₀	8.75 ₁₀	35.75 ₅₀

視界はクリアで対象物を追やすい。暗い会場内でもチラつきが少なく、サイズが大きいものの適度な重心があることで持ったときの安定感もある



ピント調整はダイヤルが本体中央にあるため、操作に若干の違和感もある



アイレリーフは12mmに設定されているので、裸眼の人のほうが扱いやすい印象



重量感はあるつつも、横幅がスリムなので持ったときの安定感もあります

ライター・インタビューアー おーちようこ氏

大きく割に重くなく持ちやすい

オリンパス 8×40 DPS I

実勢価格▶5900円

SPEC ●倍率／8倍 ●対物レンズ／40mm ●明るさ／25 ●実視界／8.2 ●見掛け視界／65.6 ●アイレリーフ／12.0mm ●重さ／710g

サイズの大きさは気になるが、視界の安定感により高評価を集めた本製品。見掛け視界は65・6度で、今回検証した製品の中では随一。明るさも25とかなり明るく、その見え方のよさは上記の写真を見ても明らか。手ブレ防止はないが、暗がりでも動きを追やすいのも好評だった。手元へ向かうにつれて横幅がシャープになる設計のため、持ったときの感触も比較的安定。1位と比べると重量感があり、本体中央にダイヤルがあるため、ピント合わせがしづらい印象も受けたが、クリアな視界を期待できることで欠点をカバーしている。重いタイプに慣れている人にはぜひともオススメしたい。

2位 双眼鏡

「デカイ」が平気ならコレ！
視界がクリアで安心感が◎



▲屋外の様子

▲屋内の様子

見掛け視界「65・6」
抜群の追求性を誇る

ビクセン ATERA H12×30

実勢価格▶7万3900円

SPEC ●倍率／12倍 ●対物レンズ／30mm ●明るさ／6.3 ●実視界／4.2 ●見掛け視界／47.5 ●アイレリーフ／17.5mm ●重さ／422g



▲屋外の様子

▲屋内の様子

防振ONランプが周囲に目立たず音もしないのが◎！

テスト結果

持ち運び	使用感	機能性
6.75 ₁₀	6.25 ₁₀	7.5 ₁₀
見やすさ	追跡性	総合得点
6.25 ₁₀	7.5 ₁₀	34.25 ₅₀

手ブレ防止機能が付いているのは好印象な一方で、操作性に懸念も。比較的小柄なコンパクトだが、電池を使用するぶん、重さがあるのも特徴



ピントについては、安定した手ブレ防止機能の効果もあいまって申し分ない



アイレリーフは17.5mmで、メガネをかけたまま使用しても違和感なく使えるのはうれしい

操作性はやや難ありだが慣れれば頼もしい一台

機械的に手ブレ防止をかけられるのが本製品。その恩恵によりクリアな視界を確保できるのはメリット。防振ON状態でのランプ点灯が目立たないのも識者からは高評価となった。ただし、舞台やライブでは客席側が暗くなる場合も多いので、満足な操作には十分な慣れが必要。手前に手ブレ防止のボタンがあり、前方にピント調整のダイヤルがあるという配置は暗がりでは扱いづらく、点数を落とした。価格も7万円台と今回検証した製品の中では比較的高価格帯となるので、入門用というよりも、自分なりの用途がハッキリしていて、機能性をとにかく重視したい人たちに向いているといえるだろう。



使用するの単4電池なので、いざというときに比較的準備しやすいのはいいですね

ジャーナリスト・エバンジェリスト みきー氏